

淡路島総合観光戦略に基づく重要な取組【案】

戦略分類	施策	概要
基本戦略(サステイナブル戦略)	持続可能な取組につながるコンテンツの開発 (SDGsコンテンツの活用)	<ul style="list-style-type: none"> ・島内に散在する淡路島ならではのSDGsコンテンツの洗い出しを、県民局、3市の協力のもと、観光協会を中心として行う。 ・島内におけるSDGsコンテンツとして磨き上げたものを、観光協会HPオンライン予約ページに掲載し、販売する。
推進戦略1(物語化)	日本遺産等の紹介にとどまらず、国生みの島・淡路の神話の背景を解き明かすストーリーを観光コンテンツとしての作り込み、磨き上げ	<ul style="list-style-type: none"> ・3市の協力のもと、淡路島日本遺産委員会・観光協会を中心として、ストーリーづくり、観光プログラムの造成、ファムツアーの実施、情報発信を行う。
推進戦略1(物語化)	地場産業や農水産業の日常や技術に触れ、美しさ、おいしさ、すごさ等を現地で体感できる観光コンテンツの造成	<ul style="list-style-type: none"> ・県民局、3市協力のもと、観光協会を中心として、地場産業、農水産業の臨場感あふれる現場を活用し、淡路島らしさにこだわった観光プログラム開発(国内外対応)を行う。特に、漁港の活性化を目指し、AWAJI島博に向けて、水揚げやセリ現場の見学コンテンツを造成し、魚介類の購入やイートインもできるよう磨き上げを行う。 ・観光協会において、販売体制を構築するとともに、ファムツアーを実施する。
推進戦略1(物語化)	ストーリーテラーとしてのガイドの養成とガイドを活用したプログラムの開発	<ul style="list-style-type: none"> ・全島でのガイド活用をめざし、各市の取り組むガイド養成の情報交換を実施し、目指すべきガイド育成の方向性を共有するとともに、効果的な育成を目指す。 ・多様なガイドを活用した着地型プログラムの造成、販売を行う。
推進戦略2(高付加価値化)	「ひょうごフィールドパビリオン」や「特別感のあるプログラムの開発」などによる高付加価値化への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・県民局、3市協力のもと、観光協会を中心として、着地型観光商品の開発と活用に向けた体制整備、多言語対応できるガイド、コーディネーターの養成、多様なエージェントとの連携による誘客・販売ルートの確保を行う。
推進戦略2(高付加価値化)	AWAJI島博の実現に向けた取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会(淡路島観光協会、県民局、3市、淡路島くにうみ協会)として、全体計画に基づき、淡路島の魅力を十分に発信できるよう準備を進める。

<p>推進戦略3(アメニティ戦略)</p>	<p>新幹線・飛行機(関西3空港、徳島空港)・高速バスとレンタカー又はカーシェアリングとの活用促進、高速バス・路線バス・コミュニティバス間の接続性向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高速バス停の駐車場、航路就航時の主要港などにカーシェアリングの導入を促進するため、県民局、3市は、車両置き場の提供用地を検討する。 ・淡路島観光協会、県民局、3市は、淡路島発着バス検索アプリ全島版「busmo」等のQRコードを、観光案内所、バス(船)の切符売場、停留所、待合所、バス(船)内及び座席へ貼付するなど、あらゆる機会を通じてPRを実施する。 ・公共交通機関の施設改修の取組を支援する。 ・徳島空港を活用した来島PRを首都圏旅行会社等へ働きかける。
<p>推進戦略3(アメニティ戦略)</p>	<p>観光客目線での景観の再構築(おもてなし看板の設置や島内観光案内看板の統一、淡路島の玄関口の環境整備、街路樹の整備、観光地の環境美化)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国、県民局、3市、観光協会等による協議の場を設け、当面、AWAJI島博の開催に向け、実現可能な対策を探る。
<p>推進戦略4(情報戦略)</p>	<p>島外進出企業との情報交換会の開催</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県民局、3市協力のもと、観光協会を中心として島外からの進出企業と双方の戦略・事業計画を情報交換し、淡路島観光戦略に沿った、より効率的で相乗効果の高いアクションプランを策定につなげる。
<p>推進体制と検証体制の確立</p>	<p>日本版持続可能な観光ガイドライン(JSTS-D)を活用した目標設定と推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・先行事例の取組状況を調査し、JSTS-Dのうちから淡路島総合観光戦略の推進に喫緊なガイドライン項目を抽出するとともに、観光戦略の推進状況を客観的に押さえることができる基準づくりを行う。